

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 二通宏久
(コード番号：2321 東証グロース)
問合せ先 グループ業務推進室 室長 檀上 浜爾
電話 03-6550-9270

前期実績値と決算値の差異に関するお知らせ

2024年3月期の連結業績について、前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 前期実績（2022年4月1日～2023年3月31日）と当期実績（2023年4月1日～2024年3月31日）との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前期実績（A）	百万円 763	百万円 △52	百万円 △51	百万円 △59	円 銭 △1.94
当期実績（B）	889	△164	△168	△317	△10.28
差額（B－A）	126	△112	△117	△258	－
増減率（%）	16.51	－	－	－	－
（ご参考）前回業績予想 （2024年2月14日付）	870	△192	△196	－	－

2. 業績予想との差異の理由

当社は、当社グループの主力製品である「commubo」、「telmee」及び「SITE PUBLIS Connect」の商品力強化に主軸を置くとともに、既存事業の「SUPREE」の受注を中心に営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高につきましては、既存事業の「SUPREE」が通信事業者等からの受注が堅調に推移したこと及び開発案件の増加、「commubo」の利用料の増加等により、前期実績値から126百万円上回る結果となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、ソフトウェアの減価償却費が増加したこと、販売費及び一般管理費におきまして、グループでの効率化による経費の削減を進める一方で、認知度向上を目的として展示会等への出展やマーケティング活動の積極化による広告宣伝費等の支出が生じたことにより前期実績値から下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、のれんの償却、有形固定資産の減損により前期実績値から大幅に下回りました。

以上